

第5学年国語科学習指導案

児童 5年2組 男子20名 女子11名 計31名
指導者 野村 雅子

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 「わらぐつの中の神様」

2 児童と単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、1学期の物語文「新しい友達」の学習において、叙述を基に、登場人物の気持ちの変化や考え方を読み取る学習を経験した。また、リード文に立ち返り、主人公の心情の変化や成長から主題にせまる学習を行ってきた。「新しい友達」の事前テストの段階では、同じ人物でも「ひろ」「松下」「わたし」など、様々な呼び方をされていることや、現在 過去 現在となっている構成のため時間の把握が難しいことから、児童は必ずしも内容を容易に理解できていないことが分かった。そこで、登場人物、場、時、出来事など物語の設定については、特に丁寧な押さえさせた上で指導に当たってきた。その手立てとして、場面ごとに小見出しをつけ心情曲線を作ることを通して学習してきた結果、ほとんどの児童が根拠となる叙述を基に、設定を読み取ることができた。

本単元を指導するに当たり、単元名が「人物の考え方や生き方をとらえよう」であることから、登場人物の人物像を的確にとらえそれぞれのつながりを考えることが大切であると考えた。また、登場人物を結びつけている物が「わらぐつ」であるということからも、題名を手がかりに読み進めることが不可欠だと考える。そこで、題名をふせて教材文を提示し題名を考えさせたところ、正解した児童は1名であった。「わらぐつ」や「雪げた」「神様」をキーワードとして考えた児童もいたが、大半の児童はおみつさんと大工さんのかかわりから想像した題名であった。また、初発の感想で額縁構成のおもしろさや構成の効果を感じ取っている児童がたくさんおり指導に当たっては、題名はもちろん、リード文や1と3の場面を大切に扱い、マサエの変容をしっかりと読み取らせていきたいと考える。

(2) 単元及び教材について

本単元「人物の考え方や生き方をとらえよう」は、物語「わらぐつの中の神様」の読みを通し、人物の考え方や生き方をとらえる単元とする。

この教材は、がんぎ、わらぐつ、雪げた等に見られるように雪国を舞台とし、また、方言が多用されていることから、地方色が濃く出ている物語といえる。その構成は、現在 過去 現在の額縁構成となっている。2場面の昔語りを聞く前のマサエと、聞いた後のマサエの変容は、「人物の考え方や生き方」をとらえる上での大切な叙述となる。そして、時間の行き来や場面の飛躍的な転換もおもしろさであり、展開の工夫であると考えた。また、わらぐつや雪げた等の小道具の味わい、印象的な台詞等、読み手の注目の仕方に応じて様々なおもしろさを感じ取ることができるであろう。このように、行動描写や会話文から人物像をとらえさせるとともに、場面構成の工夫や小道具がもたらす効果など、様々な文学の読み方を指導できる教材であると考えた。物語中の「おみつさん」は、正直者で、やさしく、何よりも純粹であることから児童は共感的にとらえるだろう。そんなおみつさんを通して、人物の考え方や、生き方をとらえていきたいと考えこの教材を選定した。さらに、1の場面では、わらぐつや神様に対して「みったぐない」「そんなの迷信でしょ」といっていたマサエが、おばあちゃんの昔話を聞くことで3の場面では「雪げたの中にも神様が」とまで、変容していく。このことは、2場面でのおみつさんや大工さんの「相手の身になって、心を込めて」といった、わらぐつを通してお互いの価値観を認め合う心の通い合いが、マサエの変容に大きく関わっているととらえる。しかも、その二人が実の祖父母であるという発見が、マサエの大きな感

動として描かれており、これは、読み手である児童の感動でもあると考える。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

【登場人物の心情や人物像を叙述と結びつけながら読み取る力】

登場人物の言動を根拠にしてとらえる。
 心情の変化を対比しながらとらえる。
 ・考え方 ・人柄

本単元では、2場面でおみつさんと大工さんの人物像を、1と3の場面でマサエの心情の変化をとらえながら読み進めていく。まず、1場面におけるマサエの心情を読み取る。ここで描かれているマサエは、甘えん坊で人任せ、おばあちゃんの話で「そんなの迷信でしょ。」と、まるで相手にしないマサエが読み取れる。次に、2場面において、人物像を読み取る際には、おみつさんと大工さんの考え方や人柄が分かる叙述に着目させながら読み進めていき、その人柄や考え方が、わらくつを通して二人を結び付けていることを読み取らせたい。そして3場面では、2場面の昔語りを聞いたことによって、どのように変容しているのかを読み取っていく。おばあちゃんの話聞くことによって、マサエの心情はどう変容したのかということ、行動や会話に焦点を当て、さらに1場面と対比させながらしっかりととらえさせたい。

3 単元の目標及び評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	登場人物の人物像や心情を叙述に沿って読もうとする。 物語のあたたかさにひかれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとする。	・登場人物の人物像や心情を叙述に沿って読もうとしている。 ・物語のあたたかさにひかれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとしている。
読む能力	会話文や行動の描写部分の叙述を手がかりに、登場人物の考え方や人柄を読み取ることができる。読むことウ	・会話文や行動の描写部分の叙述を手がかりに、登場人物の考え方や人柄を読んでいる。
言語についての 知識・理解・技能	理解するために必要な語句について、辞書を使って調べることができる。 言語事項 ウ(ウ) 方言と共通語の違いを理解し、そのよさを味わうことができる。 言語事項 カ(イ)	・理解するために必要な語句について、辞書を使って調べている。 ・方言と共通語の違いを理解し、そのよさを味わっている。

4 単元の指導計画及び評価規準(10時間)

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	全文を通読して、大体的内容をつかみ、初発の感想を書く。 新出漢字・読み替え漢字、語句の意味を確認する。	文章に興味をもち、進んで感想を書こうとしている。 (観察・シート)	話の大体の内容をつかみ、登場人物に自分の思いを重ねたり、共感したりして、初発の感想を書いている。 (シート)	新出漢字や読み替えの漢字を正しく理解している。物語を理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べている。 (観察、発言)

	2	単元名、リード文から単元全体の学習のめあて、流れをつかむ。学習計画を立てる。	今後の学習の仕方に興味をもっている。 (観察・発言)		
深 め る	3	設定をとらえる。 1場面でのマサエの人柄を読み取る。	1場面でのマサエの人柄を積極的に読み取ろうとしている。 (観察、発言)	登場人物をとらえ、その中で1場面でのマサエの人柄を読み取っている。 (観察・ノート・発言)	語感や文の使い方について考えたり、語感や文に関心を持ちたりして読んでいる。 (観察、発言)
	4 ・ 5	2場面でのおみつさんの人物像を読み取る。		わらぐつの叙述とわらぐつを作るおみつさんの考えを対応させながら、おみつさんの人柄を読み取っている。 (観察・ノート・発言)	
	6 本 時	なぜ大工さんは、おみつさんに結婚を申し込んだのか、読み取る。		大工さんのわらぐつに対する見方や考え方、おみつさんとの人柄の重なりを基に、なぜ結婚を申し込んだのか読み取っている。 (ノート・発言)	
	7	3場面での会話を手がかりにして、マサエの心の動きを考えると、人物の考え方や生き方を読み取る。		神様がいることを信じるようになったことと、昔話の人物が祖父母であることの発見の喜びから、玄関に飛び出していったマサエの心情を読み取っている。 (観察・ノート・発言)	
ま と め る	8	杉みき子の「春さきのひょう」を読み、大体的内容をつかむ。	文章に興味をもち、進んで読み進めようとしている。 (観察・発言)	話の大体の内容をつかんでいる。物語の構成及び登場人物をとらえている。 (発言・ノート)	
	9	学習した方法を使って「春さきのひょう」を読み、人物の考え方・生き方について読み取る。		既習方法を生かして登場人物の考え方・生き方について読み取っている。 (観察・ノート・発言)	
広 め る	10	方言と共通語のそれぞれのよさと役割を理解する。			方言のよさ、役割などを理解している。 (観察・シート・発言)

5 本時の指導（6 / 10）

（1）本時の目標

大工さんのわらぐつに対する見方や考え方、おみつさんとの人柄の重なりを基に、なぜ結婚を申し込んだのか読み取ることができる。

（2）本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価基準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する 児童への手だて
読む能力	<p>Bに加えて わらぐつを通しての結び付きを意識して、大工さんがプロポーズの言葉にわらぐつという言葉を入れたことをとらえている。</p> <p>例)おみつさんの「はく人がはきやすいように、あったかのように、少しでも長もちするように」というわらぐつ作りに対する考え方と、大工さんの「使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ」という考え方や、心を込めてつくるという思いやりをもった人柄が、二人に共通している部分だと思う。だから、大工さんはおみつさんのよさを感じたわらぐつのことをプロポーズの言葉に入れて「わらぐつを作ってくれないか」と結婚を申し込んだと思う。</p>	<p>前時までのおみつさんの考え方や人柄と、大工さんの考え方や人柄の重なりを根拠に、結婚を申し込んだ理由を書いている。</p> <p>例)おみつさんの「はく人がはきやすいように、あったかのように、少しでも長もちするように」というわらぐつ作りに対する考え方と、大工さんの「使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ」という見た目が悪くても、思いやりをもって心を込めてという考え方が一緒だと感じたから結婚を申し込んだと思う。</p>	<p>友達の考えを参考にしながら、自分なりの言葉で話し合いに参加したり、ノートにまとめたりできるよう声がけを行う。</p> <p>どんな考え方の共通性なのか、叙述を根拠に考えさせる。</p>

（3）展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見通す	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>なぜ、大工さんはおみつさんに結婚を申し込んだのだろう。</p> <p>大工さんは何と云ってプロポーズしましたか。</p>	<p>・大工さんのプロポーズの言葉の中の「おれにわらぐつをつくってくれないか。」に着目して二人を結び付けているのはわらぐつであることを確認する。</p>
5分	<p>2 読みの視点を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>・大工さんの人物像が分かる叙述（会話、行動）</p>	<p>・何に着目すれば、登場人物の人物像をとらえることができたのか、今までの学習から学んだことを児童の言葉で言わせたい。</p> <p>・会話や行動描写に気を付けて読むと、登場人物の気持ちや考え方が分かることを確認する。</p>
深める 35分	<p>3 課題に対して自分の考えをもち話し合う。</p> <p>（1）課題に対しての自分の考えをノートに書く。</p> <p>なぜ、大工さんはおみつさんに結婚を申し込んだのか、自分の考えを書いてみましょう。</p> <p>・考え方が同じだと思ったから。</p>	<p>・反応例のように、浅い読み取りをしているものから扱い、一つ一つの言葉をより具体化することで、深い読み取りの手がかりとしたい。</p> <p>・前時の学習内容からおみつさんの人柄や考え方にふれているものも取り上げ、大工さんとの人柄や考え方の重なり気付かせる切り口としたい。</p>

<p>・おみつさんがいいわらぐつを作っていたから。</p> <p>・おみつさんの作ったわらぐつを通しておみつさんのよさを感じたから。</p> <p>(2) 大工さんの仕事への考え方や人柄がわかる叙述を確かめる。</p> <p>市に来た人のわらぐつに対する反応はどうでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか売れない ・くすくす笑ったり、あきれた顔をしたりして断る。 ・「おらまた、わらまんじゅうかと思った。」などと、あけすけなことを言う人もいる。 <p>不格好なのになぜ、大工さんは買ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あみめがしっかりしていていいわらぐつだと思ったから。 ・おみつさんが一生懸命に作ったことを感じたから。 ・おみつさんのわらぐつ作りに対する考え方をみとめたから。 ・おみつさんの仕事振りが気に入ったから。 <p>(3) 二人の考え方や人柄を比較し、共通点について話し合う。</p> <p>おみつさんと大工さんの考えで重なっているところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う人の身になってというところが同じ。 ・見かけが悪くても、思いやりをもって心を込めてという考え方が似ている。 ・外見ではなくて、相手のことを考えてという考え方が重なっている。 ・他人のことを思いやるといふ思いやりをもっているところが同じ。 <p>4 課題に対するまとめをする。</p> <p>今日、学習したことを付け加えながら、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童からわらぐつに関する発言が出てきたら、前時の学習内容のわらぐつの様子やわらぐつに込めたおみつさんの思いなどを確認し、さらに、そのわらぐつを見た市の人たちの反応につなげていきたい。 ・市に来た人の反応を取り上げることで、大工さん以外の人たちは外見しか見ていないことを押さえる。 <p>・「不格好なのになぜ？」と問うことで、わらぐつの外見と内面を比べさせ、わらぐつに込められたものや、それに気付いた大工さんの考え方や人柄を大切に扱いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんの仕事振りやわらぐつ作りに対する考え方を理由にあげた発言を受けて、前時にまとめた、おみつさんの考え方や人柄を黒板に掲示し、考えの重なりを意識できるようにする。 ・児童が大工さんの考え方にふれたところを取り上げ、大工さんの考え方が書かれている叙述を確認し板書する。 ・大工さんの考え方からどんな人柄が分かるか叙述に立ち返って考えさせることにより、考え方や人柄がおみつさんと重なっていることを気付かせたい。 ・「使う人の身になって」という部分を、他の人を思いやる気持ち、他の人に対する思いやりなど、児童の言葉で言わせたい。 ・二人の考え方を比較することで「外見にとらわれず、使う人のみになって心を込めて物をつくる」という共通した考えが二人にあることを、板書上で話し合いながら整理していくことで理解できるようにする。 ・支援を要する児童への解決の手がかりともなるように、また、本時の学習を振り返ることができるように、児童の思考の流れに沿った構造的な板書を行う。 <p>前時までのおみつさんの考え方や人柄と、大工さんの考え方や人柄の重なりを根拠に、結婚</p>
---	---

	大工さんがなぜ、結婚を申し込んだのか考えましょう。	を申し込んだ理由を書いているか。(ノート・発言) <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに書いたものよりも深く書けるように板書を使って振り返る。 ・再度、プロポーズの言葉を確認し、二人の考え方や人柄がわらぐつを通して結びついていることを確認したい。
まとめ 5分	5 まとめの音読をする。 6 学習を振り返る。 7 次時の学習を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつを通して二人のかかわりが強くなったp17113 から2場面の最後までを役割読みをさせたい。 ・学習ののびを自分で意識できるように、今日の課題はどうすることによって解決することができたのかを考えさせる。

(4) 板書計画

